

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

お休みしませんか？



「ドイツ人は勤勉」と多くの日本人がそう考えているのでしょう。しかし、ドイツ人は有給休暇をしっかりと消化します。ドイツの法律で定める有給休暇付与日数は24日ですが、多くの会社では連邦休暇法により6日多い年間30日に設定しています。そして部下に有給休暇を取得させることは上司の大切な仕事の一つでもあります。部下が休暇を取れないと、上司の管理が悪いことになるのです。そしてドイツ人は長い間仕事を休みます。2017年の旅行期間は平均で13日間でした。ドイツ人の6割が2週間以上休暇を取って、半分以上の人が5日間以上旅行に出かけたようです。休暇が1週間だけでは心身が良好な状態になった頃に、また元の生活に戻らなくてはいけないので休暇の効果が十分ではないと考えている人も多いです。

仕事をするときはしっかり仕事をするとともに休むときはしっかり休むのはドイツの考え方かも知れません。仕事効率を上げるには心理状態を良好に保つことも大切だからです。

ドイツ人の3割以上は国内で夏休みを過ごし、海外の旅行先ならヨーロッパのスペイン(13.7%)かドイツから結構離れた場所(13.1%)が最も人気でした。ドイツ人のハワイとも呼ばれるスペインのマヨルカ島は若者達に人気です。安い値段でワイワイして、ビーチで寝転んで日焼けをすることが、そこならできます。しかし、7月と8月はドイツでも1年のうちで一番暖かい月で、暑い日が続いて、気温も37～40度に飛び上がることもあります。北ドイツにある海を訪ねる方も多いです。

スペイン以外ではイタリア(7.7%)、オーストリア(3.9%)、トルコ(3.6%)、クロアチア(3.3%)、スカンジナビア(3%)、フランス(2.9%)もよく選択されているようです。メインの旅行にかけのお金は平均で1,193ユーロ(148,825円)です。

ドイツの学校の夏休みは州ごとに異なりますが、だいたい6週間です。今年バイエルン州なら7月29日～9月9日になります。夏休み中、学校の宿題はないので、子供は自由に遊ぶことができます。大学生の夏休みも結構長いです。ミュンヘン大学では7月29日～10月13日までですが、8月までゼミの論文など書かなければなりませんから子供みたいに遊んでばかりいられるわけでもありません。

Viel Spaß im Urlaub!
(楽しんで来てね!)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👩🍳 クックパッド：沼田市のキッチン